

## 地区防災計画について(概要)

R4.6.26 自主防災研修会  
大津市危機・防災対策課説明  
(自主防災会まとめ)

### 1. 地区防災計画とは

#### ○大津市地域防災計画について

- ・大津市域に係る災害に関し、「災害予防」「災害応急対策」及び「災害復旧・復興」等に関する事項を定めた計画で、市町村には同計画を作成する義務がある。

#### ○地区防災計画について

- ・平成25年の災害対策基本法の改正により、市町村内の一定の地区の居住者および事業者が行う自発的な防災活動に関する地区防災計画の制度が新たに創設された。

#### ○地区防災計画の全体像と盛り込むべき項目例

- ・国は法改正、ガイドラインの制定等を行い、県は制度の普及促進、計画策定状況の取りまとめ等を行う。市は地域防災計画を策定し、地域住民は地域の特性にあった計画を考える。
- ・項目例は、①対象地区の範囲、②基本的な考え方、③地区の特性、④防災活動の内容、⑤実践と検証があるが、特に⑤が重要。

#### ○地区防災計画を作成することの3つの利点

- 1) 地域コミュニティ主体のボトムアップ型の計画
- 2) 地区の特性に応じた計画
- 3) 継続的に地域防災力を向上させることができる

- ・地域住民等が力を合わせて計画に基づく防災活動を実践するとともに、定期的に評価や見直しを行いつつ、防災活動を継続することが重要。

### 2. 地区防災計画を作成する上で注意すべきポイント

#### ○多様な視点を取り入れた計画

- ・要配慮者への視点…被災者の年齢・性別・障害の有無といった被災者の事情から生じる多様なニーズに適切に対応。
- ・男女共同参画的な視点…防災に関する政策・方針決定過程及び防災の現場における女性や高齢者・障害者などの参画を拡大。

#### ○ネットワーク型の組織編成を！

- ・地域防災組織のマネジメントは柔軟に、臨機応変に！

#### ○役割を固定しないことで多様な人材の参画を！

- ・班長やリーダーを入れ替えることで、それぞれの苦勞を知ったり、相互に補完し合える関係構築が地域防災力のアップにつながる。

#### ○地域と大津市の連携も不可欠

### 3. 最後に(大切なこと)

#### ○災害がなくてもイメージする！

#### ○考えるだけで終わらず、実際に対策を講じる！

#### ○一度(そのときだけ)で終わらず、繰り返す！